ちょっと自慢の公民館活動

市　町　名	松山市
公民館名	味生公民館 地区館
連絡先（TEL）	089-952-5406
ホームページアドレス	http://www.matsuyama-people.jp/04/mibu.html

事業分野	C	事業名	学社融合支援活動
趣旨・目的	① 児童生徒が地域の高齢者からいろいろ学ぶ事により、地域の一員であることを自覚する。 ② 核家族化により減った高齢者との交流を図り、地域に親しみを感じられる環境をつくる。		
対　象	味生地区三校との交流	参加人数	一学年 約110～130名

〈事 業 内 容〉

（1）概要

平成13年６月に学社融合支援活動を行うために、公民館事業活動部門として、「ふれあい味生の友」を発足させました。その後、「ふれあい農園」のグループを立ち上げ、地区の住民の応募により、現在、会員はそれぞれ約25名で活動しています。

味生地区には「味生小」「味生第二小」「津田中」の３校があり学校の要請により、活動を支援しています。

【味生小２年生　さつま芋堀り】

（2） 活動内容

① 毎月１回第三火曜日の午後に会員が集まり、研修会、支援事業の準備をします。

② 活動内容は多彩で、次の事項を毎年主に実施しています。

「味生小」

・１年生が１月に「昔の遊び」を実施します。
・３年生が１月に「味生地区の古い家」を探訪します。
・３年生が２月に「名人さんに学ぶ」を行います。
・２・３年生が６月、11月に「さつま芋、玉ねぎ」の栽培、収穫を学びます。

【津田中ふれあい活動　巻きずし作り】

「津田中」

・10月に「ふれあい活動」で地域の人から学びます。

「味生第二小」

・修学旅行にて広島平和公園に行くため、旅行前の９月に「戦中戦後の語り部会」を実施、修学旅行後、11月に報告会があります。

（3） 実施の成果と今後の課題

① 高齢者との会話が進むようになり、年齢に関係なく町で顔を合わせても、元気よく挨拶ができるようになりました。安全安心につながっています。

② 高齢化により会員が集まりにくくなるのが心配です。現会員が勧誘するように心掛けています。